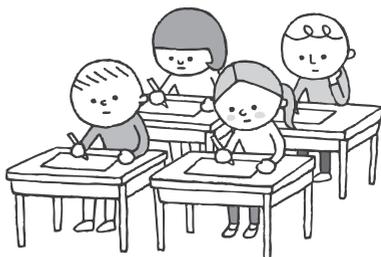


1

順序のあるカテゴリーデータを読む

 例 ある進学塾で算数のテストをしました。

テストの結果が 90 点以上を A ランク、
 80 点以上 90 点未満を B ランク、
 65 点以上 80 点未満を C ランク、
 50 点以上 65 点未満を D ランク、
 50 点未満を E ランクと分類して、
 結果を検討しようと思います。
 □をうめて統計を読んでください。



STEP 1

表 1

ランク	人数
A	24
B	36
C	80
D	44
E	16
合計	200

グラフ 1

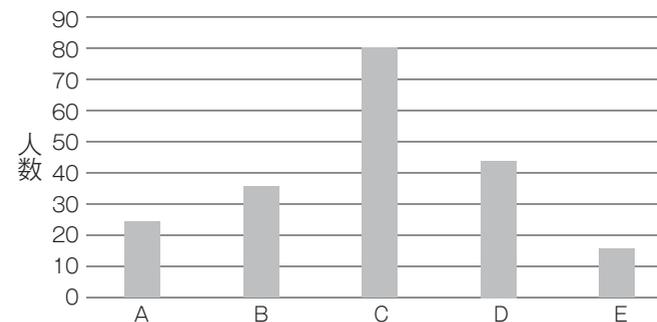


表 1 のデータの種類の データです。

表 1 は最もシンプルな 表です。

人数は一般的には 数です。

表 1 をグラフ 1 のような グラフにすると、データの 関係がよくわかります。

 解答

表 1 のデータの種類の 順序のあるカテゴリー データです。

表 1 は最もシンプルな 度数分布 表です。

人数は一般的には 度 数です。

表 1 をグラフ 1 のような 棒 グラフにすると、データの 大小 関係がよくわかります。

この段階で終わっても、学校の統計のテストでは問題ありませんが、実践的に、あるいは実務的にデータを読むということになれば、話は別です。

なぜなら、**順序のあるカテゴリーデータ**を読むときのポイントは、たとえば、**B** ランクまでに何%とか **E** ランク以下が何%とか、最も多いのは **C** ランクで何%などと表現するといいいからです。

そのためには、相対度数を求めたり、円(帯)グラフを描くことが必要になります。

STEP 2

表 2

ランク	人数	相対度数(%)
A	24	12
B	36	18
C	80	40
D	44	22
E	16	8
計	200	100

A ランクの相対度数 12%は、A ランクの 24 人が、全体 200 人のうちのどれだけの割合かということだから、

$$24 \div 200 \times 100 = 12(\%)$$
と計算します。

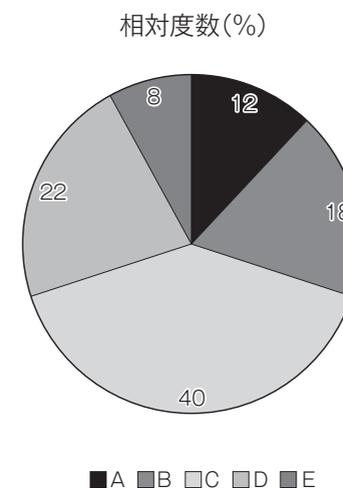
同様に B ランクの 18%は、

$$\boxed{} \div \boxed{} \times \boxed{} = 18(\%)$$
と計算します。

以下同様です。

相対度数(%)は $\boxed{}$ をあらかずグラフである、円グラフか帯グラフであらわせます。

円グラフ



帯グラフ

